



発行 / 明石市立市民病院
編集 / 明石市立市民病院広報委員会
〒673-8501 兵庫県明石市鷹匠町 1-33
電話 (078)912-2323 (代表)
ホームページ URL
<http://www.city.akashi.hyogo.jp/hospital/shiminhosp/index.html>

明石市立市民病院における救急医療への取り組み

救急医療委員会委員長 上藤 哲郎

明石市立市民病院は市民の健康な生活を支えるため、救急医療機関としての役割を担っています。救急医療には、①入院を必要としない軽症者に対する初期救急、②入院を必要とする重症者に対する二次救急、③生命危機が切迫している重篤患者に対する三次救急があります。

それぞれの症状に応じた医療機関を選択することでスムーズな治療を受けることができます。

① 初期救急

平日の昼間は市内の各医療機関で対応しています。夜間・休日の内科、小児科については「明石市立夜間休日急病センター」で対応し、外科系については市民病院をはじめとする救急告示病院で対応しています。このほかに、内科系でも救急告示病院で対応していることが多いですし、かかりつけの医療機関で対応してもらえることもあります。

② 二次救急

市民病院をはじめとする市内の病院では、輪番制により初期救急からの転送患者の夜間・休日における治療にあたっています。このほかに救急車により搬送される患者さんについては、救急告示病院で治療に当たっています。

③ 三次救急

明石市内に三次救急病院はありませんが、生命危機が迫っている患者さんについては、病状に応じて市民病院をはじめとするいくつかの救急病院で対応しています。

市民病院では二次救急と一部の三次救急患者への治療と、かかりつけ患者様への対応に特に力を入れて救急医療にあたっていますので、市民の皆様のご理解をお願いします。

<市民病院の救急体制>

診療時間中の救急には各診療科で対応しています。できるだけ希望する診療科に連絡するか、地域の消防隊、医療機関などから適切な方法で連絡を取った上で受診してください。

夜間・休日は小児科、小児科以外の内科系、産婦人科、産婦人科以外の外科系の4つの体制で対応しています。このうち、内科系と外科系の医師1名ずつ(合計2名)は必ず当直し、救急診療に従事しています。しかし、病院の機能やスタッフ数が限られているため、患者様が多数重なった場合や疾患の種類や症状によっては十分対応できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

小児科は水曜日と日曜日に東播磨臨海地域の二次救急医療機関として主に紹介患者の診療を行っています。その他の曜日についても医師が病院にいるときは、重症患者の診療で手が離せないなどの場合でなければ、救急患者の診療を行っています。

妊娠により通院しておられる患者様の出産に対しては、産婦人科の医師が対応しています。

市民病院の救急医療に関するご意見などございましたら、入退院受付の『ご意見箱』に投書ください。

<平成17年度の市民病院救急患者統計>

小児科 3,562名(うち322名入院)

産婦人科 684名(うち405名入院)

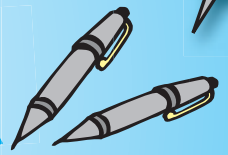
内科系(内科、循環器科、消化器科など) 2,349名(うち373名入院)

外科系(外科、整形外科、脳神経外科など) 2,564名(うち212名入院)

救急車搬送回数 1,406回

診療科

Q & A



脳 梗 塞

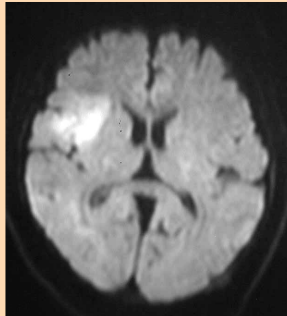
脳神経外科 徳満 拓明

Q1 脳梗塞とはどんな病気ですか？

A1 脳の血管が細くなったり、血液のかたまり（血栓）が詰まったりして、脳に酸素や栄養が送られなくなり、脳細胞が障害を受けてしまう病気です。脳の血管そのものが動脈硬化をおこして詰まる場合は脳血栓症と呼ばれ、心臓など脳とは別の場所で作られた血栓が脳の血管に流れてきて詰まる場合は脳塞栓症と呼ばれます。脳血栓症は、脳の細い血管が詰まっておこるラクナ梗塞と、太い血管が細くなったり詰まったりしておこるアテローム血栓性脳梗塞に分けられます。

Q2 症状はどのようなものでしょうか？

A2 脳は場所によってさまざまな異なる働きをしています。このため、障害を受けた場所に応じた症状が出てきます。片方の手足が動きにくくなる、顔面の片方がしびれたり動きにくくなる、ろれつが回りにくくなる、言葉が出なくなる、視野の一部分が見えにくくなる、ものが二重に見える、平衡感覚がなくなりふらつきたりめまいがする、意識がもうろうとなるなどです。しかもこれらの症状はそれまでなんともなかったのに急に生じます。一般的に頭痛はないことのほうが多いです。また、脳梗塞に陥る前の危険信号として、症状が出ていったん元に戻る場合があります、これは一過性脳虚血発作と呼ばれる状態です。



(MRI 拡散強調画像)

脳梗塞発症後まもなくの間は CT で何ら異常所見がなくても MRI で検知できることがあります。

白く光っている部分が脳梗塞になりつつある部分です。

Q3 脳梗塞と考えられる症状が出たらどうすればよいでしょうか？

A3 すぐに病院を受診してください。麻痺などがあって動けない場合は救急車を呼んだほうが良いです。脳梗塞かどうかいち早く診断を受けて、ただちに相応の治療を受ければ、症状が軽くてすむ場合があります。現在はアルテプラゼという薬を静脈注射して治療する方法が日本の保険制度でも認められています。この薬を使うにはいろいろな制約があり、特に発症から3時間以内に治療を開始できない場合は使用できないことになっています。もちろん、この薬が使えなくても、脳動脈内にカテーテルという細い管を挿入して薬剤を注入し血栓を溶かす方法や、2週間ほど点滴を行う方法など別の治療法もあります。ともかく、迅速な診断と治療が大切なのです。放置すると症状がどんどんひどくなり、重篤な後遺症を残すことになるかもしれません。

Q4 予防方法はありますか？

A4 いったん脳梗塞になった場合は、その後新たに脳梗塞ができないよう予防するために「血液が固まりにくくなる薬」を服用し続ける必要があります。もちろん、動脈硬化症で血管が細くなっている状態や、心弁膜症や心房細動があって心臓に血栓が生じやすい状態になっている場合は、あらかじめ脳梗塞を予防するために薬を服用する必要があります。また、高血圧症、糖尿病、高脂血症、喫煙、多量の飲酒などは脳梗塞を生じさせる危険因子ですので、これらをしっかりコントロールすることは言うまでもありません。それから、暑い季節ですのでどうしても体の水分が不足がちとなり、このため血液が濃縮されて血栓が生じやすくなります。しっかり水分を補給してください。

病院サービスに関するアンケート調査報告

看護部サービス向上委員会：本村 修子

看護部サービス向上委員会では、病院サービスを改善するため、外来・入院患者様を対象に看護師の対応、療養環境、食事・寝具などに対するアンケート調査を実施いたしました。皆様からのご協力をいただき誠にありがとうございました。大変遅くなりましたが、アンケート調査の結果をご報告いたします。

(1) 実施日 平成17年11月24日(木)

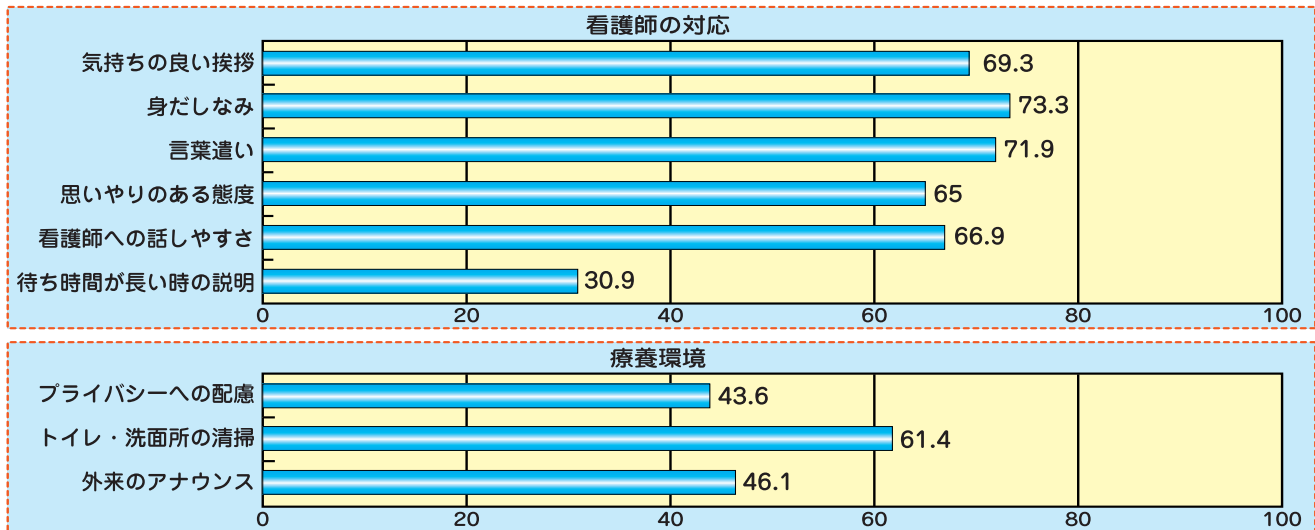
(2) 集計

区分	患者数	配布数	回収	回収率
入院	367	260	244	93.8%
外来	1,036	506	373	73.7%
合計	1,403	766	617	80.5%

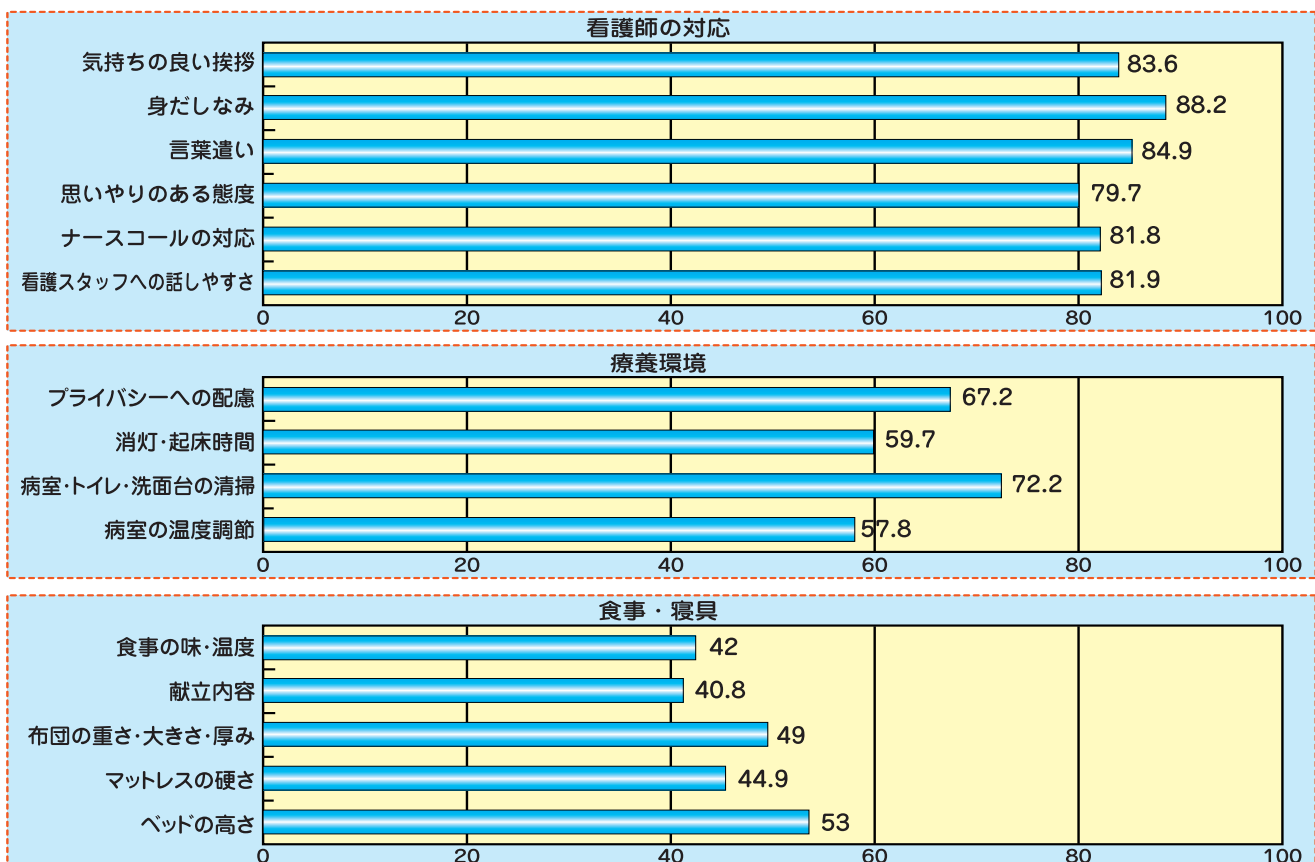


(3) 外来アンケート結果

*比率は[良い][やや良い][普通][やや悪い][悪い]の5段階評価のうち、[良い][やや良い]の合計を有効回答数で割ったものです。(単位は%)



(4) 病棟アンケート結果



高齢者の医療費はどう変わる？

医療制度改革関連法案が6月14日に可決、成立しました。高齢化社会の進行で増加を続ける医療費を抑制するため、高齢者の自己負担を引き上げるのが主な内容です。

今年10月から変わるの以下の通りです。

- ・ 70歳以上で現役世代並に所得のある人（夫婦世帯で年収約520万円以上、単身世帯で約380万円以上）の医療費の自己負担が現在の2割から3割に引き上げられます。
- ・ 自己負担分の医療費が戻ってくる「高額医療費制度」の自己負担限度額が引き上げられます。
- ・ 70歳以上の療養病床入院患者の食費、光熱費、水道代が一部負担から全額自己負担になります。（療養病床とは慢性病患者さん向けの病床で、当院にはありません。）

また、平成20年4月からは、現行の老人保健制度などが廃止され、75歳以上の人すべてが加入する「後期高齢者医療制度」と65～74歳の「前期高齢者医療制度」に再編されます。その際に、75歳以上の方は全員から保険料が徴収され、70～74歳の方は自己負担が現在の1割から2割に引き上げられます。

「ご意見箱」の意見に対する解決策など

これまでに病院内に設置されている「ご意見箱」に投書のあった意見に対する解決策などについて報告します。

意見・要望

- 1 病院正面玄関内出入口付近の案内板（大型立看板）の基礎部分の段差につまづく。
自分を含め多くの患者がたびたびつまづいているので、けが人が出る前に善処してほしい。

対策・措置・回答

*患者さまが危険箇所近づかないように「大型観葉植物」を設置し、安全対策を講じました。また、観葉植物を置くことにより、玄関の雰囲気も良くなりました。

意見・要望

- 2 外来駐車場の駐車スペース枠の白線・進入誘導の矢印白線等が消えてしまって、駐車しにくく、事故にもつながりかねないので白線を引き直してほしい。

対策・措置・回答

*早速に全ての白線を引きなおしました。これにより駐車スペースのトラブルや進入誘導路の逆行も少なくなり、車の流れがスムーズになりました。

意見・要望

- 3 玄関付近の身体障害者用乗降場は、いつもロープが張ってあって、南京錠もかかっているため、一度車を降りて警備員さんに鍵を取ってきてもらって、開けてもらってからでないと利用できない。鍵を開けるまでにバスやタクシーが来るので気持ちが焦り、とても危険で利用しづらいです。

対策・措置・回答

*このスペースには関係のない方が駐車してしまうことが多々あったので南京錠をかけました。身体障害者の方の車がこのスペースを利用しようとしたときは、それまで警備員室に鍵を取りに行っていたのですが、鍵を警備員全員が携帯するようにし、利用者が来られたときにはすぐに南京錠を開け利用していただけるように対策をしました。

院内情報局

健康明石21市民公開講座

開催日	担当	内容
8月17日(木)	産婦人科	「産婦人科ミニフォーラム」
9月21日(木)	泌尿器科	「腎・尿管結石の診断と治療」
10月19日(木)	整形外科	未定
11月16日(木)	循環器科	未定

各日も午後2時から、正面玄関右手の階段を上った2階講義室で開催します。入場無料・予約不要です。

内容未定の診療科については、広報あかし・院内ポスター・病院ホームページにより後日お知らせします。

院内での携帯電話の使用について

当院では医療機器への影響・心臓ペースメーカーを使用する患者様を考慮し、院内での携帯電話の使用を禁止しています。

しかし、携帯電話の急速な普及・入院患者様の利便性・携帯電話影響調査の結果などを踏まえ、平成18年8月1日(火)から3階西病棟ナースステーション前・4階～6階のデイルームにおいて携帯電話の使用を許可することとしました。

携帯電話使用許可区域ではマナーを守ってご使用いただきますようお願いいたします。